

◎昭和 43 年度第 11 回理事会議事録

(44.4.24) 出席者：石原会長，尾之内，国分，仁杉の各副会長，羽田専務理事，伊藤，市原，岩崎，小川，大久保，川崎(敏)，篠原，高石，高橋(国)，野口，土方，福山，村田，渡辺の各理事，大橋監事。議事録署名理事の決定：石原会長，羽田専務理事，大久保理事。A. 報告事項：つぎの各項について羽田専務理事から説明があり了承された；1) 刊行物頒布報告。2) 各種委員会その他報告。3) 昭和 43 年度第 1 回定例評議員会報告。4) 調査研究費について。5) 企画委員会の運営について。B. 協議事項：1) 名誉会員推挙候補者について，羽田専務理事より推薦内規の説明を行ない，検討の結果，つぎの候補者を推薦することになった。

Anton Grzywienski 氏  
James W. Daily 氏  
藤井松太郎氏  
水谷 成 起氏  
堀 威 夫氏  
末 森 猛 雄氏  
西 松 三 好氏  
佐々木 鏡氏

2) 昭和 43 年度土木学会賞および吉田研究奨励金被授与候補の選考結果について羽田専務理事より説明があり原案通り承認。3) 次期役員選考の開票結果について羽田専務理事から，4月22日大久保調査担当理事立合いのうへ開票の結果につき報告がありこれを承認。4) OECD(経済協力開発機構)トンネル国際会議について；石原会長から，本件は事前にトンネル工学委員会協賛済みであるので協力することにした。経費については委託者において考慮されたい旨申出ると発言。羽田専務理事より，OECDトンネル国際会議および国際トンネルシンポジウムのため事務局を土木図書館1号室に設けたので了承されたいと説明があり，これを承認。5) フイリッピン土木学会よりの提案について；羽田専務理事より説明があり石原会長から，土木が海外に進出するためには好ましいと思うが，本件は企画委員会で検討し，土木学会の態度を決めて貰うことにしたいと発言がありこれを了承。6) プレキャストコンクリートくいの研究委託について；国分コンクリート委員会委員長より説明があり，コンクリート委員会があつたことで，これを承認。7) 故桑原弥寿雄博士記念図書購入費の寄付について；羽田専務理事より説明があり承認。8) その他：①

日本工学会会長推せんについて；羽田専務理事から福田武雄氏を推せんしたいと説明，異議なく承認。9) 委員の委嘱について

トンネル工学委員会  
委員 長 建 介 日本鉄道建設公団

◎昭和 43 年度第 1 回定例評議員会

(44.3.26) 出席者：(北海道)尾崎，高瀬，(東北)松本，諏訪，(関東)小林，平岡，前島，山本，渡辺，川島，北山，重野，三浦，山門，諸岡，(中部)杉山，長坂，(関西)合田，小松，三瀬，伊藤，栗栖，米谷，畠山，増村，(中国・四国)坂田，(西部)日向野の各評議員。別に委任状 44 通，計 71 名，理事者：石原会長，松見副会長，羽田専務理事。会長挨拶：最近の学会活動中，論文集を論文報告集と改め，研究，調査，工事報告に関する論文および資料などを広くかつ積極的に掲載することとした。また，企画委員会が発足し，土木界の発展をはかるため研究をすすめる審議中である。学会が堅実に発展するため協力されたい。本日の議事についても慎重に審議されたいと挨拶。議長選任：会長の指命により米谷米二氏を選任。議事録署名者の決定：米谷議長，前島，川嶋の両評議員。議事：昭和44年度事業計画案について羽田専務理事より説明があり，審議の結果可決。2) 昭和 44 年度予算案について羽田専務理事から説明があり，質疑応答の結果可決。3) 昭和 43 年度第 2 回定例評議員会開催について。4) その他。

◎各種委員会

(1) 昭和 43 年度第 2 回地震応答を考慮した構りょう下部構造の耐震設計の研究委員会(44.3.11) 出席者：岡本委員長，ほか 28 名。議事：昭和 43 年度報告書原案を審議した。

(2) プレストレストコンクリート設計施工指針改訂小委員会第 6 回設計分科会(44.3.11) 出席者：河野副委員長，ほか 8 名。議事：プレストレストコンクリート設計施工指針改訂案(設計編)の逐条審議。

(3) トンネル工学委員会運営委員会(44.3.11) 出席者：住友委員長，坂本副委員長，ほか 12 名。議事：1) 次回本委員会の運営について。2) トンネル標準示方書およびシールド指針について。3) 第 6 回トンネル工学に関するシンポジウムについて。4) OECD について。5) その他。

(4) 鋼鉄道橋示方書委員会幹事打合

会(44.3.12) 出席者：関係者 3 名。議事：鋼鉄道橋設計示方書の原案につき審議した。

(5) シールド工法小委員会第 2 分科会(44.3.12) 出席者：山本主査，ほか 6 名。議事：シールド工法設計施工指針第 2 編覆工およびセグメントの第 2 分科会による最終原案の審議。

(6) 論文集編集委員会(44.3.12) 出席者：林委員長，前田部会長，ほか 7 名。議事：1) 論文受付から刊行までのフローチャートについて。2) 査読者について。3) 査読手続きについて。4) 査読報告書について。5) 査読結果のとりまとめについて。6) 欧文論文集について。

(7) トンネル工学委員会設計小委員会幹事会(44.3.13) 出席者：伊吹山委員長，足立副委員長，ほか 3 名。議事：トンネル標準示方書改訂にともなう設計編の原案審議作成。

(8) 第 2 回吉田賞選考委員会(44.3.14) 出席者：富樫委員長，国分副委員長，ほか 11 名。議事：1) 委員長挨拶。2) 経過報告。3) 選考方法について；①担当論文の説明，②予選の方法について，③決選に付すべき候補論文の決定。

(9) 第 125 回耐震工学委員会(44.3.14) 出席者：岡本副委員長，ほか 7 名。議事：1) IAEE について。2) 第 10 回地震工学研究発表会について。3) 委員会の今後の運営方法について。

(10) 出版委員会出版規定に関する小委員会(44.3.14) 出席者：石橋小委員長，山本幹事長，ほか 2 名。議事：土木学会出版規定についての検討。

(11) 文献調査委員会発電水力打合せ(44.3.15) 出席者：関係者 2 名。議事：分類項目「発電水力」部門改訂について打合せを行なった。

(12) 企画委員会(第 1 回)(44.3.17) 出席者：石原会長，仁杉委員長，ほか 16 名。議事：1) 委員会内規について。2) 委員会の構成について。3) 委員会の活動方針について。4) その他。

(13) 視聴覚教育委員会教育プログラム研究小委員会(44.3.18) 出席者：関係者 3 名。議事：スライド作成についての可能性について種々打合せを行なった。

(14) 昭和 43 年度第 3 回海岸工学委員会(44.3.17) 出席者：本間委員長，ほか 23 名。議事：1) 経過報告。2) 講演会講演集ならびに講演会開催について。4) Coastal Engineering in Japan について。4) 海岸保全施設設計便覧(昭和 44 年版)について。5) 委員の交代に

ついて。

(15) 河北潟干拓河口工事研究委員会 (44.3.19) 出席者：関係者 16 名。議事：1) 河口工事の施工状況について。2) 導流堤の施工にともなう海岸変化について (その 4)。3) 昭和 43 年 8 月降雨による掃砂状況について。

(16) 第 6 回鋼鉄道橋示方書委員会 (44.3.18) 出席者：沼田委員長，ほか 14 名。議事：鋼鉄道橋設計示方書原案につき審議した。

(17) 沈埋トンネル小委員会 (44.3.20) 出席者：大平委員長，伊吹山副委員長，ほか 13 名。議事：「沈埋トンネル設計法に関する調査」43 年度報告書の最終審議。

(18) 第 2 回論文賞選考委員会 (44.3.24) 出席者：岡本委員長，林副委員長，ほか 18 名。議事：1) 経過報告。2) 審査員判定結果総括報告。3) 予選の方法について。4) 決選に付すべき候補論文について。5) 決選投票の方法。

(19) シールド工法小委員会主査幹事会 (44.3.24) 出席者：西嶋委員長，山本主査，ほか 3 名。議事：シールド工法設計施工指針第 3 編シールドの原案審議検討。

(20) コンクリート委員会構造用軽量骨材に関するシンポジウム打合せ (44.3.24) 出席者：関係者 4 名。議事：1) 司会について。2) 報告書の取りまとめ。3) その他。

(21) アルミナセメント小委員会 (44.3.24) 出席者：国分委員長，ほか 9 名。議事：1) 試験計画 (実物大試験) について。2) 文献紹介；The Structural Use of Precast Concrete British Standard Code of Practice 他。

(22) PC 工法小委員会 (B.B.R.V 工法) 打合せ (44.3.24) 出席者：関係者 7 名。議事：B.B.R.V 工法設計施工指針 (案) の取りまとめ。

(23) トンネル工学委員会調査小委員会 (44.3.25) 出席者：丸安委員長，ほか 8 名。議事：トンネル標準示方書改訂にともなう第 2 編調査原案の審議。

(24) 衛生工学委員会幹事会 (44.3.25) 出席者：関係者 8 名。議事：1) 委員会構成について。2) 次回委員会運営について。

(25) トンネル工学委員会設計小委員会 (44.3.26) 出席者：伊吹山委員長，足立副委員長，ほか 8 名。議事：トンネル標準示方書改訂にともなう設計編の審議検討。

(26) 衛生工学委員会 (44.3.27) 出

席者：板倉委員長，ほか 13 名。議事：1) 次期委員会の構成および運営について。2) 年次学術講演会について。3) 下水汚泥の処分方法に関する研究小委員会報告。4) その他。

(27) 下水汚泥の処分方法に関する研究小委員会 (44.3.27) 出席者：寺島委員長，ほか 12 名。議事：昭和 43 年度報告書のとりまとめを行なった。

(28) トンネル工学委員会施工小委員会 (44.3.27) 出席者：足立委員長，大塚副委員長，ほか 9 名。議事：トンネル標準示方書改訂にともなう第 4 編施工の最終審議。

(29) 終局強度設計小委員会幹事会 (44.3.28) 出席者：関係者 7 名。議事：1) 第 5 回議事録の承認。2) せん断について。3) その他。

(30) 論文集編集委員会第 1 部会 (44.3.28) 出席者：前田部会長，ほか 4 名。議事：1) 査読報告。2) 新規受付原稿について。3) その他。

(31) 岩盤力学委員会主査幹事会 (44.3.28) 出席者：関係者 4 名。議事：1) 各分科会の活動報告。2) 会誌掲載原稿 (岩盤力学に関する) 執筆について。3) 岩の力学研究連合委員会経過報告。4) 事業報告の作成および事業計画の立案について。

(32) 海岸工学委員会打合せ (44.3.29) 出席者：関係者 7 名。議事：委員会新組織について審議した。

(33) シールド工法小委員会第 4 分科会 (44.3.29) 出席者：西嶋委員長，ほか 8 名。議事：シールド工法設計施工指針第 4 編施工および施工設備の解説作成と今後の方針について。

(34) 八郎潟干拓船越水道計画施工研究委員会 (44.3.31) 出席者：本間委員長，ほか 11 名。議事：1) 導流堤について。2) 船越水道護岸について。3) 船越水道付近汀線について。4) 43 年度第 1 回議事録について。5) その他。

(35) 第 11 回原子力土木技術委員会 (44.3.31) 出席者：左合委員長，ほか 11 名。議事：1) 第 7 回原子力総合シンポジウムについて。2) 次年度の活動方針 (委員の追加も含む) について。3) 講演「放射性廃棄物の地下処分について」京都大学 井上頼輝委員。

(36) 第 2 回企画委員会 (44.4.1) 出席者：石原会長，仁杉委員長，ほか 16 名。議事：委員会の活動方針について；1) “企画委員会で取り上げる事項”に関する試案について。2) 企画委員会の調査研究事項別に関する原案作成の分担につ

いて。3) その他。

(37) シールド工法小委員会第 2 分科会 (44.4.2) 出席者：山本主査，ほか 5 名。議事：シールド工法設計施工指針第 2 編覆工およびセグメントの原案審議検討。

(38) 会誌編集委員会書評小委員会 (44.4.2) 出席者：伊藤委員長，ほか 1 名。議事：1) 経過報告。2) 受付図書審査。3) 委員交代討議。4) その他。

(39) 文献調査委員会 (44.4.2) 出席者：新谷委員長，ほか 12 名。議事：1) 会誌 54 巻 6 号登載抄録の決定。2) 解説記事について。3) 分類項目「発電水力」について。4) 委員の交代について。

(40) 視聴覚教育委員会教育プログラム研究小委員会 (44.4.3) 出席者：鈴木委員長，ほか 3 名。議事：スライド作成についての作業の進め方等につき打合せを行なった。

(41) 論文集編集委員会第 2 部会 (44.4.3) 出席者：関係者 6 名。議事：1) 査読報告。2) 新規受付原稿について。3) その他。

(42) 論文集編集委員会第 3 部会 (44.4.3) 出席者：山口部会長，ほか 2 名。議事：1) 査読報告。2) 新規受付原稿について。3) その他。

(43) 論文集編集委員会第 4 部会 (44.4.3) 出席者：山口部会長，ほか 6 名。議事：1) 査読報告。2) 新規受付原稿について。3) その他。

(44) トンネル工学委員会調査小委員会 (44.4.3) 出席者：関係者 5 名。議事：トンネル標準示方書改訂にともなう第 2 編調査の原案審議。

(45) 会誌編集小委員会 (44.4.4) 出席者：森委員長，ほか 9 名。議事：1) 経過報告。2) 論文審査。3) 会誌第 54 巻第 8 号の編集。4) その他。

(46) トンネル工学委員会 (44.4.4) 出席者：藤井委員長，加納幹事長，ほか 21 名。議事：1) 委員長挨拶。2) 各小委員会経過報告。3) 43 年度決算報告ならびに 44 年度事業予定。4) 第 5 回，第 6 回シンポジウムについて。5) 国際会議事務局の設置について。6) OECD トンネル国際会議について。

(47) アルミナセメント小委員会幹事会 (44.4.4) 出席者：関係者 5 名。議事：アルミナセメント現場実物構造物試験計画について。

(48) 耐震工学委員会懇談会 (44.4.4) 出席者：那須委員長，岡本副委員長，ほか 6 名。議事：耐震工学委員会の今後の運営方法 (研究課題，委員構成，活動

方法等)につき審議した。

(49) 第3回田中賞選考委員会(44.4.7)出席者:友副委員長,ほか10名。議事:1)前回議事録の確認。2)両部門決選投票開票前の事前審議。3)両部門の内定。4)受賞理由の作成。

(50) シールド工法小委員会主査幹事会(44.4.7)出席者:西嶋委員長,遠藤副委員長,ほか6名。議事:シールド工法設計施工指針第3編シールドの原案審議検討。

(51) 空港舗装研究委員会アスファルト舗装部打合せ(44.4.7)出席者:関係者2名。議事:試験舗装計画(案)の作成。

(52) 吉田賞選考委員会(44.4.9)出席者:富樫委員長,国分副委員長,ほか12名。議事:1)前回議事録の確認。2)吉田賞決選投票の開票を行ない候補者を内定した。3)吉田研究奨励金の報告(小委員会案)。4)来年度委員会構成および運営について。5)昭和42年度吉田研究奨励金被授与者の報告。6)授賞経過報告の作成。7)その他。

(53) 吉田賞選考委員会研究奨励金候補選考小委員会(44.4.9)出席者:国分委員長,ほか5名。議事:昭和43年度吉田研究奨励金候補の内定を行なった。

(54) プレストレストコンクリート設計施工指針改訂小委員会第7回設計分科会(44.4.10)出席者:河野副委員長,ほか10名。議事:1)委員の交代について。2)今後の分科会運営について。3)Ⅲ種PC部材設計法について。

(55) 大学土木教育委員会第3回幹事会(44.4.10)出席者:奥村委員長,山口幹事長,ほか1名。議事:1)今後の活動方針について。2)委員の交代について。

(56) 第126回耐震工学委員会(44.4.11)出席者:那須委員長,ほか7名。議事:1)経過報告。2)IAEEについて。3)国鉄委託橋梁下部構造耐震設計研究委員会について。4)国際地震工学研究所について。5)第10回地震工学研究発表会について。6)委員会の運営方法について。

(57) 海岸工学委員会打合せ(44.4.11)出席者:関係者7名。議事:1)委員会内規細則(案)の作成。2)その他。

(58) シールド工法小委員会第2分科会(44.4.11)出席者:山本主査,ほか7名。議事:シールド工法設計施工指針第2編覆工およびセグメントの原案審議。

(59) トンネル工学委員会打合せ(44.

4.11)出席者:住友委員長,ほか4名。議事:1)OECD国際トンネル会議のための分科会設置について。2)第6回トンネルシンポジウムのための分科会設置について。3)事務局について。

(60) 論文集編集委員会部会長会(44.4.11)出席者:林委員長,前田,神山の部会長,ほか2名。議事:1)各部会報告。2)論文報告集第166号掲載原稿の決定。3)作業部会の作業内容について。4)委員の交代について。5)今後の予定について。

(61) 海岸保全施設設計便覧改訂小委員会編集委員会(44.4.12~13)出席者:久宝委員長,ほか5名。議事:海岸保全施設設計便覧(昭和44年版)の原稿整理およびとりまとめを行なった。

(62) 構造実験指導書編集分科会(44.4.12~13)出席者:関係者7名。議事:構造実験指導書の執筆原稿について読合せを行ない,内容について討議,全9節のうち6節を完了した。

(63) 論文賞選考委員会(44.4.14)出席者:岡本委員長,林副委員長,ほか18名。議事:1)前回議事録の確認。2)決選投票開票前の審議。3)開票,授賞候補者の内定。4)授賞経過,授賞理由の作成。5)来年度の委員会構成および運営について。6)授賞経過,授賞理由の作成。

(64) 表彰委員会(44.4.14)出席者:石原委員長,松見主査,ほか11名。議事:1)前回議事録の確認。2)開票前の事前審議。3)功績・技術両賞決選投票の開票,決定。4)論文賞選考委員会結果報告,決定。5)吉田賞選考委員会結果報告,決定。6)田中賞選考委員会結果報告,決定。7)功績・技術両賞の選考経過ならびに授賞理由の作成。8)表彰委員会内規の見直しについて。9)来年度の委員構成ならびに運営方針について。10)その他。

(65) 下水汚泥の処分方法に関する研究委員会打合せ(44.4.14)出席者:関係者10名。議事:1)東京都下水道局から土木学会衛生工学委員会へ下水汚泥の海洋投棄に関する調査の委託について,その委託内容と委託計画について打合せ。2)土木学会衛生工学委員会による下水汚泥の海洋投棄に関する調査の今後の進め方について(建設省委託調査)。

#### ◎その他

(1) 第5回岩盤力学に関するシンポジウム(44.2.27~28)

場所:土木図書館講堂  
参加者:約130名

講演数:18題(うち特別講演1題)

(2) 岩の力学研究連合委員会幹事会(44.3.29)出席者:岡本委員長,ほか5名。議事:1)経過報告。2)国際岩の力学学会(I.S.R.M.)について;①国際会議,シンポジウム等について,②国内会員リストならびに事務連絡について,3)岩の力学に関する各学会の活動状況について。4)会計報告。5)次年度の活動方法について。6)日本学術会議への申請事項について。

(3) 第2回構造物用軽量骨材に関するシンポジウム(44.4.1)

場所:土木図書館講堂  
参加者:約200名  
講演題数:23題

## 支 部 だ よ り

### ◎北海道支部

(1) 昭和43年度支部通常総会(44.3.20,北電7階講堂)

- 1) 43年度事業報告
- 2) 43年度決算報告
- 3) 会計監査報告
- 4) 支部奨励賞選考結果報告
- 5) 同賞授与
- 6) 昭和44年度改選役員発表,改選ならびに留任商議員はつぎのとおり。

① 改選役員(任期:昭和44年4月~46年4月)ただし支部長,幹事長は,45年4月まで

◎印は評議員,○印は理事をそれぞれ兼ねる。

支部長	板倉 忠三	北大教授
商議員	伊福部宗夫	北海学園大学教授
	伊藤 健二	札幌市水道局給水部長
	加藤 市郎	開発局港湾計画課長
◎吉川	有直	北海道軌道施設工業社長
	菅原 敏夫	北海道土木部道路課長
	杉中 一彦	北電土木部工事課長
	鈴木 四郎	大林組札幌支店長
◎鷹田	吉憲	室蘭開建部長
	竹内 康和	国鉄札幌工務局長
	中田 正	小松建設工業支店長
	古谷 浩三	開発局土木試験所長
	村田 忠	開発局河川工事課長
	村田 郁夫	北海道土木部河川課主任技師
	森 勝平	戸田建設札幌支店次長

◎山岡 勲 北大教授

○境 隆雄 室蘭工大教授

監査 山野 耕二 開発局道路維持課長

◎留任役員(任期:昭和43年4月~45年4月)

商議員 石井 郁夫 小樽市土木部長

- ◎尾崎 晃 北大教授  
小田嶋政次 開発コンサルタント  
常務取締役
- 小川 博三 北大教授  
重松 治 鉄道公園札幌支社工  
事部長
- ◎高瀬 正 大成建設理事  
中崎 昭一 函館土現所長  
中村和太吉 留萌開建部長  
長谷川 守 田中組土木部長
- ◎前口 正蔵 北電土木部次長  
蜂村 芳明 国鉄道支社企画室長  
森田 健造 室蘭工大教授  
柳川 憲寿 旭川開建部長
- 監査 倉橋 努 中山組常務取締役  
以上 商議員 29名 うち評議員6名  
理事 2名

**(2) 昭和 44 年度幹事長および幹事の委託**

幹事長、ほか新任ならびに留任幹事はつぎのとおり。

- 幹事長 山岡 勲 北大工学部教授  
(任期・昭和 43 年 5 月～45 年 4 月)
- 幹事 井上 豪彦 開発局港湾建設課  
小林 豊明 開発局道路建設課  
井藤 昭夫 開発土木試験所構造研  
究室
- 岡崎 悠吾 道土木部港湾課  
庄司 生幸 道土木部道路課  
藤田 睦博 北大工学部助教授  
角田与史雄 北大工学部助教授  
久末 礼二 国鉄道支社施設課  
星川 信喜 日本鉄道公園道支社計  
画課
- 関口 光永 北電土木部  
(任期・昭和 44 年 5 月～46 年 4 月)
- 幹事 荒川 利輝 大林組札幌支店  
本多 祐也 北海学園大工学部助教  
授
- 高谷 弘 道コンサルタント橋梁  
課
- 佐伯 浩 北大工学部助教授  
牧野 成雄 開発局河川計画課  
西部 勲 鹿島建設札幌支店  
桜田 充郎 札幌市土木部街路工事  
課

**(3) 新旧支部事務引継 (44.5.2, 支部事務局)**

引受者: 昭和 44 年度幹事長 山岡 勲  
引渡者: 昭和 43 年度幹事長 前口正蔵  
一般事務引継のほか「申送り事項」として

- 1) 研究発表会発表改善対策
- 2) 支部会計取扱い細則の制定の促進
- 3) 支部事務局事務取扱い細則の制定促進
- (4) 支部運営委員会 (44.5.13, 支部事務局) 出席者: 支部長、ほか 6 名。議事: 1) 支部内規の改正。2) 事務局職員の給与基準について。3) 支部予算の補強対策その他。
- (5) 第 1 回幹事会 (44.5.13, 支部会議室) 出席者: 山岡幹事長、ほか 12 名。議事: 1) 44 年度事業計画。2) 44 年度

予算案。3) その他。

**◎関東支部**

- (1) 第 6 回幹事会・第 7 回郷土の土木編集委員会 (43.12.10, 山王飯店) 出席者: 松井支部長、ほか 18 名。
- (2) 第 7 回幹事会 (44.1.22, 土木学会) 出席者: 松井支部長、ほか 10 名。
- (3) 第 8 回郷土の土木編集委員会 (44.2.18, 土木学会) 出席者: 6 名。
- (4) 全国大会第 1 回打合せ (43.12.13, 土木学会) 出席者: 松井支部長、ほか 4 名。
- (5) 全国大会第 2 回打合せ (43.12.24, 土木学会) 出席者: 松井支部長、ほか 7 名。
- (6) 全国大会第 1 回準備委員会 (44.1.22, 土木学会) 出席者: 松井委員長、ほか 14 名。
- (7) 全国大会第 1 回講演部会 (44.2.4, 土木学会) 出席者: 久保部会長、ほか 5 名。
- (8) 全国大会第 1 回懇親部会 (44.2.12, 東京都庁) 出席者: 末沢部会長、ほか 3 名。
- (9) 全国大会第 1 回見学部会 (44.2.19, 国鉄東一工) 出席者: 富田部会長、ほか 2 名。
- (10) 全国大会第 2 回講演部会 (44.3.6, 土木学会) 出席者: 久保部会長、ほか 5 名。
- (11) 全国大会第 1 回総務部会 (44.3.7, 土木学会) 出席者: 松井委員長、ほか 6 名。
- (12) 第 5 回映画会 (43.12.14, 土木図書館)  
映 画: 3 編  
参加者: 30 名
- (13) 第 6 回映画会 (44.1.20, 与野農工高校)  
映 画: 3 編  
参加者: 270 名
- (14) 第 7 回映画会 (44.2.3, 礒子工業高校)  
映 画: 3 編  
参加者: 120 名
- (15) 「東京湾の開発」講演会 (44.2.14, 土木図書館)  
講 演: 4 題  
参加者: 80 名
- (16) 「総武線と地下鉄 5 号線」見学会 (44.3.26)  
参加者: 52 名
- (17) 関東地区評議員会 (44.2.7, 土木学会) 出席者: 松井支部長、ほか 18 名。議事: 役員候補者選考委員会につい

て。

- (18) 関東地区役員候補選考委員会 (44.3.6, 土木学会) 出席者: 松井支部長、ほか 8 名。

**◎関西支部**

- (1) 工事安全対策に関する講習会 (44.2.25～26, 大阪科学技術センター)  
題目と講師
  - ① 高気圧下作業における安全対策  
白石基礎工事 (株) 大阪支店工務課長 平川 脩士
  - ② 発破作業上の安全対策  
鹿島建設 (株) 土木工務部長 工博 佐藤忠五郎
  - ③ 鉄道工事における安全対策  
元国鉄大阪工務局長 北条 武徳
  - ④ 地下鉄工事における安全対策  
元大阪市交通局高速鉄道建設本部第三建設事務所長 竹山 喬
  - ⑤ トンネル工事における安全対策  
(株) 大林組土木本部技術部長 工博 坂本 貞雄
  - ⑥ 機械化土工における安全対策  
ブルドーザー工事 (株) 喜撰山ロックフィルダム作業所長 福井 毅
  - ⑦ 既設構造物に対する近接工事の安全対策  
阪神高速道路公団工務部工務第一課長 上林 達郎
  - ⑧ 鋼橋架設上の安全対策  
日立造船 (株) 桜島工場長付 加藤 真三
  - ⑨ 高所工事における安全対策  
(株) 大林組労務課長 砂田 道一
  - ⑩ 海上工事における安全対策  
第三港建神戸港工事々務所長 日下 宏
- 参加者: 423 名 (会員 324 名, 非会員 99 名)  
参加費: 会員 1000 円, 非会員 1500 円
- (2) 若い会員懇親パーティ (第 2 回) (44.2.25, 大阪科学技術センター)  
参加者: 13 名 (うち招待関係者 4 名)  
参加費無料
- (3) 工程管理に関する講習会 (44.3.18～19, 大阪科学技術センター)  
題目と講師
- ① これからの工程管理の考え方  
国鉄中央鉄道学園学長室調査役 矢部 真
  - ② 同上  
日本道路公団高速道路広島建設所 津山工事々務所長 永吉 寿男
  - ③ ネット・ワーク手法の計算および演習  
京都大学教授工学部 工博 吉川 和広
  - ④ 安治川水門建設における工程管理および建設コンサルタント協会大阪支部技術研究委員会施工管理分科会  
大阪府土木部高潮課長 那智 俊雄  
代講 大阪府西大阪防潮工事所 中之島工区長 須山 修次
  - ⑤ 港湾および空港工事における工程管理  
第三港湾建設局工務第一課長 城所 正雄

- ⑥ 道路工事における工程管理  
近畿地建第二阪神国道工事々務所長  
片山 重夫
- ⑦ 橋りょう下部工事における PERT 導入  
例  
中央復建コンサルタンツ(株) 調査研  
究室次長 柳田 保男
- ⑧ 地下駅構築における PERT 導入例  
(株)奥村組技術研究所調査部長  
河原畑良弘
- ⑨ 万国博覧会会場建設における PERT 導  
入例  
日本万国博覧会協会建設部工程管理課  
長 山本 芳雄
- 参加者：200名(会員178名,非会員  
22名)
- 参加費：会員1100円,非会員1600円
- (4) 若い会員懇親パーティ(第3回)  
(44.3.18, 大阪科学技術センター)  
参加者：14名(うち招待関係3名)  
参加費：無料
- (5) 講師懇談会(44.3.19, 大阪科学  
技術センター)  
43年度行事各講師招待  
出席者：20名
- (6) 第3回商議員会(44.3.14, 好文  
倶楽部)出席者：米谷支部長,伊藤幹事

- 長,商議員20名,評議員8名,幹事9  
名。
- (7) 第11回幹事会(44.3.14, 好文  
倶楽部)出席者：米谷支部長,伊藤幹事  
長,ほか16名。
- (8) 役員候補選考委員会委員打合せ  
(44.2.26, 大阪科学技術センター)出席  
者：米谷支部長,伊藤幹事長,ほか3  
名。
- (9) 第33回騒音振動委員会(44.2.  
18, 好文倶楽部)出席者：畑中幹事長,  
ほか7名。
- (10) 第30回騒音振動委員会幹事会  
(44.2.18, 好文倶楽部)出席者：畑中幹  
事長,ほか7名。
- (11) 第1回見学会(東名高速見学会  
大阪班)(44.4.18~19)  
見学先：名神高速道路, 東名高速道路  
参加者：46名  
参加費：5000円
- (12) 第12回幹事会(44.4.15, 好文  
倶楽部)出席者：米谷支部長,伊藤幹事  
長,ほか15名。
- (13) 第34回騒音振動委員会(44.3.

- 25, 好文倶楽部)出席者：畑中幹事長,  
ほか10名。
- (14) 騒音振動委員会幹事会(第31回)  
(44.3.25, 好文倶楽部)出席者：畑中幹  
事長,ほか7名。
- (15) 騒音振動委員会第二阪神国道第  
3次騒音振動測定調査実施計画小委員会  
(44.2.18, 好文倶楽部)出席者：畑中幹  
事長,ほか7名。
- (16) 騒音振動委員会第二阪神国道第  
3次騒音振動測定調査実施(44.3.2, 大  
阪市大正区泉屋中通り)記事：パイプロ  
矢板打ち込みによる騒音振動測定および  
アンケート調査を実施した。
- (17) 騒音振動委員会第二阪神国道騒  
音振動測定資料解析小委員会(44.3.17,  
大阪旅行会館)出席者：関係者3名。
- (18) その他
- ① 近畿地方建設局へ建設工事に伴う騒音  
振動の動調査と解析業務の委託研究報告  
書を提出した(44.3.31)
- ⑥ 騒音振動委員会委員 昭治郎氏都合  
により委員を退任した。

## 本州四国連絡橋技術調査報告書

### 付属資料 1.耐風設計指針(1967)および同解説特別頒布

本学会が建設省および日本鉄道建設公団より委託をうけて調査した結果を「本州四国連絡橋技術調査報告書」(4冊一組)として頒布いたしました。そのうち、付属資料1.の下記指針は、学術的、技術的にもきわめて貴重なものであり会員からの要望もありますので委託者のご厚意により限定部数にかぎり増刷の許可を得、下記により頒布しますので希望者は至急お申込み下さい。

#### 記

- 目次：第1章 総節/第2章 風の特性/第3章 風速の変動/第4章 設計風速/第5章 静的設計/第6章 動的解  
析/第7章 構造物に対する風洞実験/第8章 架設中その他の問題点
- A4判 120ページ,活版印刷
- 頒 価：1200円(送料100円)
- 頒布部数：100部
- 申込要領：前金で土木学会刊行物頒布係へお申込み下さい。

#### 編 集 後 記

近年の公害に対する一般の関心の高まりを  
思えば、公害特集号の発刊は遅きに失した感  
があります。実は編集委員会では数年前から  
公害に関する特集を出すという案を持っていた  
のですが、土木学会としての取り上げ方にむず  
かしさがあるように思われて、今日まで実現  
に至りませんでした。このむずかしさは、自然  
環境と人間社会との両方は深いかわり合いを  
持ちながら開発と保全のための手段を抜かう  
土木技術の多面性に由来するものであり、また、  
それだけに土木と公害とは土木屋の立場や  
価値観の如何にかかわらず、常に縁が深い  
ということにもなりましょう。

この特集の企画に当っては、学会としての明確な理念

を打ち出すというような高望みはせず、公害を  
“人間の生存と活動の場である自然環境の人為  
的な改変によってもたらされる不都合な現象”  
として捉え、まずその実態を認識することによ  
って土木技術者としての問題意識の向上に資  
する、という立場を取りました。

したがって、公害にどのように対処するか、  
という議論は今後の課題として残されています。  
いささか旗幟鮮明さに欠けるうらみがあり、  
食い足らなさをお感じになる向きもあろう  
かと存じますが、これを機会に、公害につ  
いての識者の積極的な議論が誌上に展開さ  
れることを期待する次第です。

(浜守 厚・記)